令和４年度第５３回関東中学校サッカー大会

新型コロナウイルスの影響下における大会運営のガイドライン

　本大会開催にあたり、新型コロナウイルス感染症拡大防止対応に関して、「スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」（日本スポーツ協会）及び「令和４年度全国中学校体育大会実施上のCOVID-19感染拡大予防ガイドライン第５版」（（公財）日本中学校体育連盟）及び「ＪＦＡサッカー活動の再開に向けたガイドライン」（（公財）日本サッカー協会）に基づき本ガイドラインを作成しました。

　本大会に参加する各チーム・役員・関係者の全ての皆様におきましては、本ガイドラインに従って感染拡大防止を徹底し、安全で円滑な大会運営にご協力頂きますようお願いいたします。なお、本ガイドラインは、現段階で得られている知見等に基づいて作成しています。今後の知見の集積及び新型コロナウイルスの感染状況により、随時見直すことがあり得ることに御留意ください。

１，事前の対応

**（１）感染対策責任者の設置**

　　実行委員会及び参加チームは、事前、試合日、事後にお互いが連絡を取り合える環境を構

　　築するため、それぞれ感染対策責任者を設置する。

　①感染対策責任者の主な作業内容

　　参加チームの感染対策責任者の主な作業は以下のとおりとし、感染対策が実行されている

　　かを確認し、改善を要する場合、その旨指示する。

|  |  |
| --- | --- |
| 参加チーム | ア、移動、大会期間中における感染対策の立案  イ、選手、チーム役員、その他関係者への感染対策の周知  　・**（別紙４）「同意書」**、**（別紙１）「大会参加者（選手・引率者）の健康状況チェックシート及び参加確認書」**の配布時に記入説明と健康管理の徹底指示  　・学校等で実施している健康記録表の日々の記録と健康観察の徹底指示  ウ、手指消毒液設置の確認  　・手指消毒液の設置確認および切れていないか、不足箇所がないか確認する  エ、関係者の体調管理の把握  　・選手、チーム役員の体温を記入したものを管理  オ、会場受付において  　・**（別紙２）参加状況報告書**の提出  　・選手、チーム役員全員の体温測定への協力  カ、換気の励行  　・移動、控室、ミーティングルームでの換気 |

**（２）感染対策ルール**

　　①以下の事項に該当する選手や引率者等は、大会に参加できない。

　　　ア、風邪の症状（例：発熱、咳、喉の痛み、頭痛等）や倦怠感、味覚臭覚の異常など新

　　　　　型コロナウイルス感染症が疑われる症状がある場合。

　　　イ、同居家族や身近な人に感染が疑われる方がいる場合。

　　　ウ、過去１４日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地

　　　　　域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合。

　　②マスクを着用し、咳エチケットに十分配慮する。

　　③手洗い、手指消毒をこまめに行う。

　　④社会的距離（できるだけ２ｍ、最低１ｍ）を確保する。

　　⑤３密（密閉、密集、密接）を避ける。

　　⑥握手、抱擁などは行わない。

　　⑦フィールド上での唾・痰吐き、うがい等は絶対にしない。

　　⑧タオル、飲料ボトルなどの共用はしない。

　　⑨（公財）日本中体連、（公財）日本サッカー協会、大会実行委員会が示す注意事項を遵

　　　守する。

**（３）大会参加の同意**

本大会に参加する選手とその保護者は、事前に参加に当たっての注意事項や本ガイドライン等の内容を確認し、**（別紙４）「同意書」**を所属校校長に提出する。校長は**（別紙４）「同意書」**を確認の上、大会申込書にて参加を許可する。**（別紙４）「同意書」**は参加校が保管しておく。

**（４）参加対象者の特定（体調記録表提出予定者の特定）**

　　参加チームは、１週間前に本大会に参加する選手や引率者等のチーム役員を特定し学校で実施している体調記録表の記入を行い、健康管理の徹底をする。学校で実施していない場合は、学校の責任において大会前後２週間分の健康記録表を作成する。実行委員会は必要に応じて参加チームより対象者リストの提出を求めることができる。

**２，チームの移動**

　　参加チームは常に健康状態をモニタリングしている集団であり、チーム単位での移動によ

　　り感染対策を万全にする。

**（１）バスによる長距離移動**

　　①バス会社への事前の依頼事項

　　　ア、事前に車内を消毒する。

　　　イ、運転手は体調管理し、マスク、手袋を着用する。

　　②バス車内での社会的距離

　　　ア、バス内は密をさけるよう人数を極力減らし、着席する席の間隔を空ける（目安：定

　　　　　員５０％まで）。

　　　イ、長時間（２時間以上等）移動の場合、複数台のバスにより密にならない状況を作る

　　　　　などを検討する。

　　③その他の注意事項

　　　ア、バス内ではマスクを着用する。

　　　イ、１時間につき３回の換気を推奨として、窓を開けて換気する。

　　　ウ、サービスエリア等での休憩時もマスクを着用し、感染予防に務める。

**（２）近距離の移動**

　　①チームの移動は、可能な限り公共交通機関の利用を避け、バス、乗用車等を利用する。

　　　尚、会場の駐車場利用については大会実行委員会の指示に従うこと。

　　②移動に際して、以下の点に留意する

　　　ア、マスクを着用する。

　　　イ、長時間（２時間以上等）移動の場合、複数台に分乗して選手間の社会的距離（でき

　　　　　るだけ２ｍ、最低１ｍ）の確保を検討する。

　　　ウ、１時間につき３回の換気を推奨として、窓を開けて換気する。

**（３）移動中の食事**

　　①感染及び濃厚接触を防ぐ観点から、移動中には食事を慎む。

　　②移動中に食事をとらざるを得ない場合、以下の例のとおり感染防止に十分配慮する。

　　　ア、車内でできるだけ距離をとる。また対面ですわらない。

　　　イ、車内の換気に留意する。

　　　ウ、食事をする者以外は、マスクをする。

　　　エ、食事の直前に手指消毒を行う（手指衛生剤を車内に携行し、使用する）。

オ、食事中にマスクを外した状態での会話はしない。

　　　カ、食事は、できるだけ短時間で済ませる。

**３，チームの宿泊**

**（１）接触による感染リスクからの回避**

　　宿泊施設の従業員や利用客との接触を減らし、感染リスクを減らす工夫をする。

**（２）手指消毒液の設置**

　　チームが訪れる各所に手指消毒液を設置する。

**（３）チームの行動規範**

　　①自室以外ではマスクを着用する。ツインルームの場合はできる限りマスクを着用する。

　　②エレベーターのスイッチや階段の手すりに、素手で触れないようにする。

　　③ホテルの共有施設に立ち入らない。ただし、コインランドリー等使用しなければいけな

い場合は、マスクの着用や社会的距離を取って使用すること。

**（４）部屋割り**

　　①可能な限り絞った人数での宿泊とし、密を避けて設定する（対応できない場合は、選手

　　　同士の体調管理を徹底する）。

　　②部屋の換気を良くする。

**（５）トレーナー・マッサージルーム**

　　①室内を混雑させないよう留意し、換気を良くする。

　　②順番が来るまで室内に立ち入らない。

　　③マスク、手袋等を用いて、感染を予防する。

　　④トレーナーは、マスク・手袋・手指消毒など標準予防対策をとった上で対応する。

**（６）食事**

　　①選手の席は、できる限り社会的距離（できるだけ２ｍ、最低１ｍ）を確保し、向かい合わせの配席はしない。

　　②十分に広い部屋がない場合、グループ分けして食事時間をずらす。

　　③食事をする時間をできる限り短縮し、食事していない場合はマスクを着用する。

**（７）ミーティング**

　　①対面にて実施する場合、部屋の換気に留意する。

　　②監督、コーチ、選手が、社会的距離（できるだけ２ｍ、最低１ｍ）を確保して着席する。

４，当日の対応 参加チームの選手及び引率者等は、以下のとおり対応する

**（１）試合当日の体温測定**

　　①毎日の定時の検温は、変わらず実施する。

　②当日の検温は、会場到着以前に選手や引率者等全員の体温を測定する。

　　③３７．５℃以上の発熱者がいた場合

　ア、参加チームや引率者等は、会場に来場しない。もしも、会場へ向かっている間に発

　　　　　熱した場合は、宿舎または自宅に戻る。

　　　イ、参加チームの感染対策責任者は、実行委員会の感染対策責任者と情報共有する。

　　　ウ、実行委員会の感染対策責任者は、実行委員会事務局と試合会場長に報告する。

　　　エ、新型コロナウイルス感染症の疑い症状がある場合は、保護者に迎えに来てもらい速

　　　　　やかに帰宅させ、帰国者・接触者相談センター等へ連絡し相談の上、医療機関を受

診し、検査等の適切な処置を行う。

**（２）会場への到着と受付**

　　①参加チームは、指定された時刻に会場に到着する。

　　②参加チームの感染対策責任者は、毎試合受付時に**(別紙２)参加状況報告書**を提出し確認

を受ける。**(別紙２)参加状況報告書**を持参しなかったチームは大会に参加できない可能

性がある。

　　③参加チームの選手及び引率者等は全員、毎試合受付時に検温を受ける。３７．５度以

上の発熱をしている場合は、入場することができない。

**（３）参加チームの選手や引率者等は、感染対策ルールを遵守すること。**

**（４）控え場所・更衣室（参加チーム）**

　　①控え場所・更衣室内でも社会的距離（できるだけ２ｍ、最低１ｍ）を確保する。

　　②控え場所・更衣室の滞在時間を、できるだけ短時間に減らす。

　　③控え場所・更衣室内では、必ずマスクを着用する。

　　④タオル、飲水ボトル等を共用しない。また、クーラーボックス（クーラーバッグ等を含

　　　む）を使用して飲水ボトル・氷を保冷する場合は、本体、飲水ボトル、冷却水等に触れ

　　　ることによる接触感染リスクが高まることから、触れる前に手指消毒、手洗いを十分に

　　　行い、手袋をするなど対策を講じる。また不特定多数の人がクーラーボックス本体およ

びその中の飲水ボトルや氷に直接触れないようにできる限り少人数に限定し、特定でき

るようにすること。口を付け、フタを開封した飲水ボトル等をクーラーボックスに戻す

ことは、絶対にしない。

**（５）選手の治療、マッサージ**

　　①選手の治療を行うスタッフ（トレーナー）は、マスク・手袋・手指消毒など感染対策を

とった上で対応する。

　　②環境（使用する器具等）の消毒を行うこと。

　　③会場ドクターや看護師が診察や治療を行う場合には、感染対策（マスク・手袋の着用）

　　　を行う。

**（６）競技用具、備品の消毒**

　　①試合開始前にボール、コーナーフラッグ、ゴールポストを消毒する。

　　②ボールは、ハーフタイムにも消毒する。

**（７）マッチコーディネーションミーティング**

　　３密を避け、通常のマッチコーディネーションミーティングより短時間で実施する。実行

　　委員会は、両チーム代表者、審判員に対し、試合運営の留意すべき事項を書面にまとめて

事前に伝達しておく。

**〔主な感染対策確認内容〕**

　　　①試合前、試合後に相手チーム、審判団との握手は実施しない。

　　　②両チームベンチへの挨拶を実施しない。

　　　③円陣はしない。

　　　④倒れた選手に手を貸さない。

　　　⑤得点時にハイタッチ、抱擁を行わない。

　　　⑥口に含んだ水を吐かない。

　　　⑦ボトルを共用しない。

　　　⑧水・氷を溜めたクーラーボックスを共用しない。

　　　⑨タオルを共用しない。

　　　⑩ピッチ上でチームメイト、審判員と会話する際にも互いの距離についてしっかりと配

　　　　慮する。

　　　⑪ピッチ内でも咳エチケットを守り、つばを吐く、手鼻をかむなどの行為を行わない。

　　　⑫ベンチではマスクを着用し、会話を控える。

**（８）試合開始前のウォーミングアップ**

　　ピッチ上でのウォーミングアップでは、選手、チーム役員、審判はマスクをしなくてよい。

　　但し、社会的距離（できるだけ２ｍ、最低１ｍ）を保つこと。

**（９）試合開始前の、審判団による選手チェック及び用具チェック**

　　各チームのチームベンチ前で副審が実施する。

**（10）選手及び審判団のピッチ入場～キックオフ**

　　①入場時の密接を防ぐため、両チーム及び審判団は社会的距離（できるだけ２ｍ、最低１ｍ）を保って、横並びで入場する。

　　②握手セレモニー、ペナント交換等は行わない。

　　③チームの集合写真撮影は認められる。但し、社会的距離（できるだけ２ｍ、最低１ｍ）

　　　を保つこと。

　　④コイントスは主審及び両チームのキャプテンにより実施する、但し、社会的距離（でき

　　　るだけ２ｍ、最低１ｍ）を保つこと。

　　⑤ピッチ上で密集密接（手をつなぐ、肩を組む）となる円陣を組むことは行わない。尚、

　　　密集、密接にならずに社会的距離（できるだけ２ｍ、最低１ｍ）を保って円になって集

　　　まることは認められる。

**（11）チームベンチ**

　　①社会的距離（できるだけ２ｍ、最低１ｍ）座る。

　　②ベンチの選手及びチーム役員は、マスクを着用する。但し、テクニカルエリアで指示を

　　　送る際は、マスクを外してよい。競技中については、プレー及びアップ時以外はマスク

　　　着用とする。

　　③不要な会話・接触は控える。

　　④ベンチの選手及びチームスタッフはマスクを着用する。

　　⑤試合終了後は消毒液でイスなど使用した用具を拭き取る。

**（12）試合中の飲水**

　　①飲水ボトル等の共用を避ける。

　　②氷水にスポンジを入れて体を冷やすことは、体を冷やすだけであれば容認される。但し、

　　　スポンジで顔を拭うことは行わない。スポンジの共有は避けることとする。

　　③選手が口を付けフタをしたボトル等をクーラーボックスに戻すことは、絶対に避ける。**（13）試合終了時のセレモニー・退場について**

　　①試合終了時は両チーム及び審判員はピッチ中央に集まる。但し、社会的距離（できるだ

　　　け２ｍ、最低１ｍ）を保つよう十分配慮する。握手、ハイタッチ、抱擁は行わない。

　　②競技終了後は、速やかに片付けやアルコール等による手指消毒を行う。また、試合終了から３０分以内に会場を出発できるようにする。

　　③控え室にシャワーが設置されている会場があるが、会場入りしてから会場を出るまで

　　　の間、感染症対策で使用することは認めない。

**５，来場者への制限について**

（１）観客の入場については、参加チーム・大会役員等との接触を避けるため動線管理を行う。

（２）全ての観客は観客用入場受付場所で検温を行い、**(別紙３) 来場者観戦者体調記録表**を提出または**「山梨県3種委員会感染症対策健康チェックフォーム （来場者・観戦者 体調記録表）」**入力後の返信メールをスマートフォン等の端末画面で提示する。

**（別紙３）「来場者体調記録表」**に記入漏れがある場合は、その場で記入して問題がなければ入場を認める。検温の結果、体温が３７．５度以上の場合は入場することができない。

（３）大会役員、生徒役員は、本部において検温を行い、**(別紙３) 来場者観戦者体調記録表**を提出または**「山梨県3種委員会感染症対策健康チェックフォーム （来場者・観戦者 体調記録表）」**入力後の返信メールをスマートフォン等の端末画面で提示する。

**（別紙３）「来場者体調記録表」**に記入漏れがある場合は、その場で記入して問題がなければ入場を認める。検温の結果、体温が３７．５度以上の場合は入場することができない。

（４）保健所の積極的疫学調査（感染経路の聞き取り調査）にあたり、濃厚接触者に該当する可能性のある観客の情報提供に協力するため、個人情報の管理を徹底した上で、観客の個人情報提供の協力をもとめる。

６，観客の入退場管理

（１）待機列が「密」にならないよう工夫する。

　　　例：間隔を空けることの呼びかけ、喋らないことの呼びかけを行う。

（２）入場時に非接触体温計により検温し３７．５度未満であれば入場することができる。

　　　※体温が３７．５度以上の場合は、別箇所へ移動していただき、再度検温し、３７．５

　　　　度以上の場合は、入場を断る。

（３）入口に手指消毒液を設置する。

（４）観戦者受付担当者は、観戦者の手荷物には直接触らない。

（５）保健所の積極的疫学調査を行うにあたり、濃厚接触者に該当する可能性のある観客の情

　　　報提供をするため、また、陽性反応者との接触機会を告知し、更なる感染拡大防止につ

　　　なげるため、観客の中から陽性反応者が確認された場合の対応を考慮し、以下の通りと

　　　する。

　　・観客の個人情報（氏名、電話番号等）を把握する。

　　・実施方法：全観戦者は（別紙３）来場者体調記録表により個人情報を提供する。

　　・条　　件：もしも、来場者の中から陽性反応者が確認された場合に、迅速に積極的疫学調査を行うため、保健所等の公的機関に個人情報を提供し、全ての観客は個人情報を提供した上で、観戦できる。（事前告知および入場口等に掲示）

（６）観戦者への配布物がある場合、不特定多数の方が触れないように管理し、定期的に手指

　　　消毒をした担当者が配布する。

（７）喫煙所は、原則設置しない。（会場による）

（８）退場時は、「密」にならないよう工夫する。

例：時差退場、場内アナウンスによる呼びかけ等

**７，応援について**

**（１）応援について容認される行為は下記の通りになる**

　　①横断幕掲出（会場ごとの指定に従う）

※掲出の際、密にならないよう十分配慮をする。

　　②拍手、手拍子。

　　③タオルマフラー、ゲートフラッグ等を掲げる。

**（２）応援について禁止される行為は下記の通りになる**

　　①声を出す応援（禁止理由：飛沫感染につながるため）。

　　　例：指笛・チャント・ブーイング、トラメガ・メガホン・トランペット など道具・楽

　　　　　器の使用

　　②太鼓・メガホン等の鳴り物。

　　　（禁止理由：鳴り物に合わせて声を出してしまうリスクがあるため）

　　③大旗を含むフラッグを振る。

　　　（禁止理由：接触リスクがありフラッグが飛沫等で汚染され飛散するリスクがあるため）

　　④タオルマフラーを振る、もしくは回す。

　　　（禁止理由：接触リスクがありタオルが飛沫等で汚染され飛散するリスクがあるため）

　　⑤人と接触する応援。

　　　（禁止理由：接触感染につながるため）

　　　　例：ハイタッチ・肩組みなど"

　　⑥「密」を作る応援

　　　（禁止理由：飛沫感染・接触感染のリスクが高くなるため）

８，実行委員会の確認事項及び準備・実施すべき事項

**（１）会場全体**

　　①会場の入り口及び各所に、アルコール等の手指消毒剤を用意する。

　　②定期的な会場内の巡視により、感染防止対策の状況確認を行う。必要に応じて、対策事

　　　項の徹底を求める。

**（２）手洗い場所**

　　①手洗い用の石鹸（ポンプ型）を用意する。

　　②会場の入り口に、アルコール等の手指消毒剤を用意する。

**（３）更衣室・待機スペース**

　　①可能な限り広さにはゆとりを持たせ、他の参加者と密にならないようにする。

　　②ゆとりを持たせることが難しい場合は、一度に入室する人数を制限する等の措置を講じ

　　　る。

　　③換気扇を常に回す、換気用の窓を開ける等、換気に配慮する。

**（４）洗面所**

　　①トイレ内の複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、水洗トイレのレバー等）

　　　については、こまめに消毒する。

　　②トイレの蓋を閉めて汚物を流すよう表示する。

　　③手洗い用の石鹸（ポンプ型）を用意する。

**（５）飲食**

　　①飲食物を手にする前に、手洗い、手指消毒を行うよう声を掛ける。

　　②飲食場所は広さにゆとりを持たせ、他の者と密にならないようにする。

　　③飲食は必要最小限にとどめ、指定場所以外では行わず、周囲の人となるべく距離を取っ

　　　て対面を避け、会話は控えめ（原則、私語禁止）にするよう指導する。

　　④選手等の飲食は参加チームの感染対策責任者の責任においてさせるとともに、ゴミは

　すべて持ち帰らせる。

**（６）ゴミの廃棄(ゴミは持ち帰りが原則)**

　　①鼻水、唾液などが付いたゴミは、個人が準備した袋に入れて密閉し縛った上で持ち帰ら

　　　せる。

　　②万が一ゴミを回収する際には各チームで準備したマスクや手袋を着用し、鼻水、唾液

等が付いたゴミは各チーム持参のビニール袋に入れて密閉し、処分する。

**９，選手・チーム役員(関係指導者)の感染が判明した場合の対応**

**（１）大会前**

　　①参加選手とチーム役員において、新型コロナウイルス感染症の検査において陽性反応が示された場合、または濃厚接触者と特定された場合の出場(入場)は認めない。

**大会期間中**

　　①発熱等の症状を訴える参加選手を確認した場合は、保護者に迎えに来てもらい速やか

　　　に帰宅させ、医療機関に電話等で相談するよう指示する。

**（３）大会後**

　　①感染者の所属する学校や行政機関の指示に従う。

　　②感染者が発生した場合、感染者を特定しようとすることやＳＮＳ等で誤った情報を発

信することのないよう、全ての関係者に対して指示する。

**10，その他**

1. 万が一感染が発生した場合に備え、個人情報の取り扱いに十分注意しながら、**(別紙２)参加状況報告書**と**(別紙３) 来場者観戦者体調記録表**は期間を定めて（１か月以上）保存しておく。

（２）大会後に参加者から新型コロナウイルス感染症を発症したとの報告があった場合や、

地域の生活圏において感染拡大の可能性が報告された場合の対応方針について、自治

体の教育委員会とあらかじめ検討しておく。

（３）今後、社会情勢が大きく変化し、通常の社会生活に戻るなどした場合の対応は、本ガイ

　　　ドラインの限りではない。

令和４年度第５３回関東中学校サッカー大会

新型コロナウイルスの影響下における大会運営のガイドライン

別 紙 一 覧

**☐ (別紙１)　大会参加者（選手・引率者）の健康状況チェックシート及び参加確認書**

**☐ (別紙２)　参加状況報告書**

**☐ (別紙３)　来場者観戦者体調記録表**

**☐ (別紙４)　同意書**

**☐ 選手・引率者用チェックリスト**

**☐ 実行委員会用チェックリスト**

大会参加までの流れ（フロー図）

【生徒・保護者】

【学校】へ 提出

校長が同意書確認

　※同意書は学校で保管

１

当日～期間中～終了後

１週間前～前日

～大会申込

○生徒は、**学校で実施している体調記録表**を記入する。

※学校で体調記録表を実施していない場合は、大会前後１週間（計約２週間）の健康記録表を学校の責任で作成する。

参加生徒の健康面を踏まえ大会参加の可否を判断する。

**参加する場合、(別紙４)同意書**記入、保護者押印

顧問は、**学校で実施している体調記録表**をもとに日々生徒およびチームスタッフの体調を確認する。変更・出場自粛等あれば、専門部に連絡をする。

引率者は、大会当日、生徒及び引率者等の１週間分の記録内容と**(別紙１) 大会参加者（選手・引率者）の健康状況チェックシート及び参加確認書**を確認し、**(別紙２)参加状況報告書**に記入し、毎試合日、大会本部（会場受付）に提出する。

※**(別紙１) 大会参加者（選手・引率者）の健康状況チェックシート及び参加確認書**は学校（顧問）が30日間保管し、期日経過後は適切に破棄する。

校長が大会申込書に押印し、専門部に提出

○引率者は学校の責任において、大会前１週間分の**体調記録表**を記入する 。

※大会前後１週間（計約２週間）記入する。

**【来場者・大会役員・観戦者の健康チェック】**

**(別紙３) 来場者観戦者体調記録表→保護者・学校関係者・応援生徒など観戦者が記入し、受付に提出。**

**または山梨県3種委員会感染症対策健康チェックフォームへ入力→受付または本部でチェック**

**（別紙１）**

**大会参加者（選手・引率者）の健康状況チェックシート及び参加確認書**

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| このチェックシートは第53回関東中学校サッカー大会において新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するため，参加者の健康状態を確認することを目的としています。  　本健康チェックシートに記入いただいた個人情報については，関東中学校サッカー大会実行委員会が，適切に取り扱い，大会参加者の健康状態の把握，来場可否の判断及び必要な連絡のためにのみ利用します。また，個人情報保護法等の法令において認められる場合を除き，本人の同意を得ずに第三者に提供いたしません。但し，大会会場にて感染症患者またはその疑いのある方が発見された場合には，必要な範囲で保健所等に提供することがあります。 | | | | | |
| **◎基本情報** | | | | | |
| 年齢（　　　） | | | 学校名  (所属) | | |
| 住所 | | | 電話番号（自宅または保護者の携帯電話番号） | | |
| |  |  | | --- | --- | |  |  |  |  | | --- | |  |   大会当日の体温  度  分 | | | | | |
| **◎過去１週間における健康状態**  **※該当するものに「✓」を記入してください。** | | | | | |
| ア | 平熱を超える発熱がない。 |  | オ | 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいない。 |  |
| イ | 咳（せき），のどの痛みなどの風  邪症状がない。 |  | カ | 新型コロナウイルス感染症陽性  とされた者との濃厚接触がない。 |  |
| ウ | だるさ（倦怠感），息苦しさ（呼  吸困難）がない。 |  | キ | クラスター発生施設への滞在歴がない。 |  |
| エ | 嗅覚や味覚の異常がない。 |  | ク | 政府から入国制限，入国後の観察期間が必要とされている国，地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がない。 |  |
| 保護者　確認欄  保護者氏名　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　印 | | | | | |

※　大会当日に、生徒から顧問（引率責任者）へ提出してください。

※　本健康チェックシートは，参加校が少なくとも30日以上保管し、期日経過後は各学校において、責任を持って適切に廃棄処分する。

**（別紙２）**

令和４年　　月　　日

第53回関東中学校サッカー大会実行委員会　様

参　加　状　況　報　告　書

　過去１週間実施した「健康記録表」の結果、参加生徒の健康状況は良好であるため、次の大会・事業等に参加いたします。

　また、参加顧問等の健康状況も良好であることを確認しました。

　 参加大会名（事業名）**令和４年度 第53回関東中学校サッカー大会**

　 開　催　日　　　　　　　　　月　　　　　日　（　　　）

参加生徒数　　　　　　　　　　　名　　　顧問数　　　　　　名

以上報告いたします。

学　校　名

顧　問　名（自　署）

**（別紙３）**令和４年度第５３回関東中学校サッカー大会

受付日・提出日　令和４年８月　　 日

QR コード

自動的に生成された説明

過去1週間における以下の事項の有無　　該当する項目に☑を入れてください。

**山梨県3種委員会感染症対策健康チェックフォーム**

**（来場者・観戦者 体調記録表）QRコード**

**https://forms.gle/GVWPgH8UhDRhuuXH9**

「山梨県3種委員会感染症対策健康チェックフォーム （来場者・観戦者 体調記録表）」へ入力による観戦者健康記録の提出の流れ

①　事前に各チームから保護者へGoogleフォームURLを配布

<https://forms.gle/GVWPgH8UhDRhuuXH9>

②　事前に自宅で検温を行い、チェックリストへ入力

③　観戦者用受付で検温・手指消毒・返信メール提示

④　入力データは本部管理【大会終了2週間後削除】

QR コード

自動的に生成された説明

**（別紙４）**

令和４年度　第５３回関東中学校サッカー大会

**大　会　参　加　同　意　書**

関東中学校体育連盟 ならびに

学校名

校長名 　 様

　　 　　私は、関東中学校体育連盟令和４年度第５３回関東中学校サ

ッカー大会に参加するにあたり、健康上の問題はありません。

　　　 　また、同大会の開催要項、日本中学校体育連盟全国中学校

　　 　体育大会実施上の感染拡大予防ガイドライン、令和４年度全

　 　　国中学校体育大会第５３回関東中学校サッカー大会新型コロ

　 　　ナウイルスの影響下における大会運営のガイドラインに従い

　　 　同大会に参加することを同意します｡

　 　 令和４年　 月　 日

参加者名

保護者名 ㊞

**※参加選手の保護者から学校長へ提出（学校が保管しておく）**

**引率者・監督・コーチ等のチーム役員は学校長へ提出（学校が保管しておく）**

令和４年度　第５３回関東中学校サッカー大会

「感染防止対策チェックリスト」 【参加選手及び引率者等用】

|  |  |
| --- | --- |
| **☐** | **試合２週間前からの自身の体調と行動履歴を記録している。** |
| **☐** | **風邪の症状（発熱，咳，鼻汁，咽頭痛，頭痛等）はない。** |
| **☐** | **朝，検温を実施し，発熱が無いことを確認している。** |
| **☐** | **マスクを着用し、予備も準備している。** |
| **☐** | **タオルやハンカチを準備している。** |
| **☐** | **会場に移動する際，感染防止対策を講じている。** |
| **☐** | 手洗いを実施する。  （会場到着時・更衣前後・試合前後・食事前後・解散時 等） |
| **☐** | **控え場所・更衣室が密集しないよう，適切に使用している。** |
| **☐** | **常に，自校や他校の生徒，大会関係者等との距離を，できるだけ２メートル（最低１メートル）確保している。** |
| **☐** | **給水するための、ボトル・コップ等を共用しない。** |
| **☐** | **食事の際，間隔を取って座り，対面をさけ，会話は控える。** |
| **☐** | **全てのゴミは各自で持ち帰り，自宅で処分する。** |

令和４年度　第５３回関東中学校サッカー大会

「感染防止対策チェックリスト」 【実行委員会用】

|  |  |
| --- | --- |
| ☐ | 感染防止対策について，施設と事前打ち合わせを行っている。 |
| ☐ | 感染防止対策について，運営スタッフと事前打ち合わせを行った。 |
| ☐ | 大会関係者全員の健康状態について確認を行った。 |
| ☐ | 会場内の巡回・確認について，運営スタッフのローテーションを作成し周知している。 |
| ☐ | 会場入り口等に手指消毒薬等を設置している。 |
| ☐ | 手洗い場に石けんを準備するとともに，丁寧な手洗いの方法に関する資料等を掲示している。 |
| ☐ | 更衣室は，一度に入室できる人数を入口付近に明示している。 |
| ☐ | 更衣室の床に，生徒同士の間隔を取るための目印テープを貼付するとともに，換気が行われている。 |
| ☐ | 試合中，チームが使用するベンチ等は，十分間隔が空いている。 |
| ☐ | 一度に会場に入れる人数や学校数等を制限している。 |
| ☐ | 広さにゆとりのある食事場所を，参加校に指定している。 |
| ☐ | 感染者が出たときの対応手順を関係各所と確認してある。 |